



**EDINET**

Electronic Disclosure for Investors' NETwork

# 書類提出用 端末要件

2008年3月13日

金融庁 総務企画局 企業開示課

- ◆Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ◆Microsoft Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ◆Sun、Sun Microsystems、Java は、米国またはその他の国における米国 Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- ◆Adobe® product screen shots reprinted with permission from Adobe Systems Incorporated.
- ◆Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator は、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- ◆その他、記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
- ◆本文中では、TM、®、©は省略しています。
- ◆本書に掲載されている内容は、2008年2月現在のもので、予告なく変更される可能性があります。
- ◆本書は、構成・文章・プログラム・画像・データ等のすべてにおいて、著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製等、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。

1 操作環境について	1
2 事前準備	2
2-1 システム使用時の操作環境	2
2-2 証明書の設定	3
2-3 信頼済みサイトの設定	5
2-4 JRE の設定	8
2-5 電子メールの設定	11
3 電子署名	12
3-1 電子証明書について	12
3-1-1 電子署名機能のインストール	13
3-2 公的個人認証サービス	14
3-2-1 事前準備	14
3-2-2 利用者クライアントソフトのダウンロード	15
3-2-3 公的個人認証証明書登録ツールのダウンロード	15
3-2-4 証明書の設定－IC カードリーダーの設定	16
3-2-5 証明書の設定－証明書の確認	17
3-2-6 証明書の設定－証明書の登録	19
3-3 商業登記	21
3-2-1 事前準備	21
3-2-2 証明書の登録	21

# 本書について

本書は、「開示書類等提出者のホームページ」を利用するためのコンピュータの事前準備と必要な設定変更について説明しています。

## EDINET をご利用いただくために

EDINET で開示書類等を提出するための前提知識として、一般的な Web ブラウザを使用し、インターネットがご利用いただける方を対象としています。

## 本書の表記について

本書は以下の環境で作成されています。  
クラシック表示に切り替えている場合は、画面の表示が異なります。

OS	Microsoft Windows XP SP2
ソフトウェア	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP2 Sun VM 5.0 Update12(JRE1.5.0_12) Adobe Reader 7.0

本マニュアル内に記載されている記号は、以下のような意味があります。

表示	意味	表示	意味
POINT 	操作に関連するポイントについて説明しています。		画面の入力や選択する項目などをさします。
MEMO 	知っておいていただきたいことについて説明しています。		画面で表示された項目などをさします。
 <b>重要</b>	重要事項について説明しています。必ずお読みください。	《 》	画面の項目名をさします。 例：《EDINET コード》をクリックします。
[ ]	画面名をさします。 例：[提出者検索画面]が表示されます。	【 】	キーを押す操作をさします。 例：【F5】キーを押します。

## 製品名の記載について

本書では、次の略称を使用しています。

名称	略称
Windows Vista	Windows Vista または Windows
Windows XP	Windows XP または Windows
Windows Internet Explorer 6	Internet Explorer 6 または Internet Explorer
Windows Internet Explorer 7	Internet Explorer 7 または Internet Explorer
Adobe Reader 6	Adobe Reader 6 または Adobe Reader
Adobe Reader 7	Adobe Reader 7 または Adobe Reader

# 1 操作環境について

開示書類等提出者のホームページを使用する場合の、コンピュータ環境について説明します。

EDINET は、以下の条件を満たす標準的なパソコンで動作を確認しております。  
また、《ソフトウェア》のオペレーティングシステム、Web ブラウザおよび JRE (Java Runtime Environment) の組み合わせは、以下のいずれかの組み合わせで動作を確認しております。

		【1】	【2】
ハードウェア	ディスプレイ解像度	1024×768 以上	1024×768 以上
ソフトウェア	オペレーティングシステム	Windows XP SP2	Windows Vista
	Web ブラウザ	Internet Explorer 6.0 SP2	Internet Explorer 7.0
	Sun VM	5.0 Update12 6.0 Update3	6.0 Update3

※上記の「2」の組み合わせで EDINET を使用する場合、画面の表示が操作ガイドと一部異なる場合があります。

※システムを利用するためには、事前に金融庁のホームページから「安全な通信を行うための証明書」を入手してください。手順は『2 事前準備』(p.2)をご確認ください。

※PDF で提出される書類を確認するために「Adobe Reader」が必要です。

## 2 事前準備

EDINET を使用する前に、ご利用いただくコンピュータに事前準備が必要です。事前準備の手順について説明します。

### 2-1 システム使用時の操作環境

EDINET に接続する際に、ご利用いただいているコンピュータで、初期の設定から変更が必要な箇所について説明しています。

1 証明書のダウンロード・設定



2 信頼済みサイトの設定



3 JRE の設定

## 2-2 証明書の設定

EDINET に接続するためには、事前に金融庁のホームページから「安全な通信を行うための証明書」をダウンロードし、ご利用いただくコンピュータにインポート（設定）を行います。

すでにダウンロード済みの方は、ご利用いただくコンピュータにインポート（設定）されているかどうか、確認してください。証明書の確認手順は金融庁のホームページをご覧ください。

### 1

Web ブラウザを起動します。



をダブルクリックします。

※  が表示されていない場合は、《スタート》→《すべてのプログラム(P)》→《Internet Explorer》をクリックします。



### 2

金融庁のホームページに接続します。

金融庁のホームページ



金融庁のホームページの URL は、

<http://www.fsa.go.jp/>です。



## 3

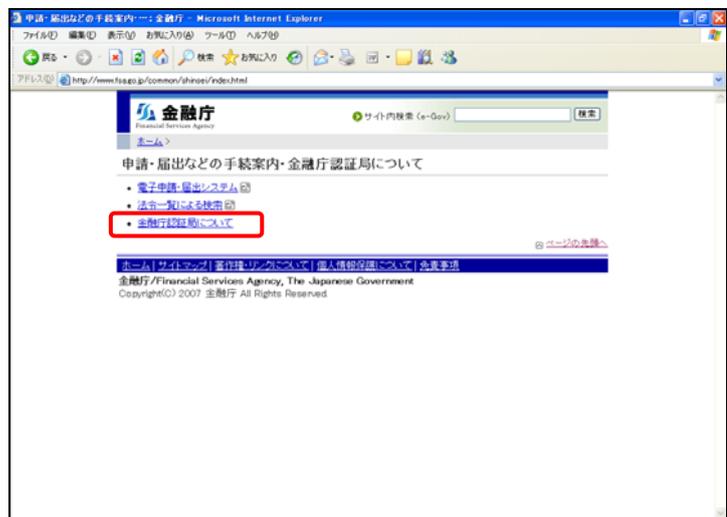
《申請・届出などの手続案内・金融庁認証局について》をクリックします。



[申請・届出などの手続案内・金融庁認証局について]が表示されます。

## 4

《金融庁認証局について》をクリックします。



## 5

以降の操作は、金融庁のホームページに記載されている操作手順に従ってください。

## 2-3 信頼済みサイトの設定

Internet Explorer を起動し、「信頼済みサイト」の設定を行います。

### 1

Internet Explorer を起動します。



をダブルクリックします。

※  が表示されていない場合は、《スタート》→《すべてのプログラム(P)》→《Internet Explorer》をクリックします。



### 2

メニューバーの《ツール》から《インターネット オプション》をクリックします。

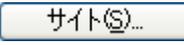


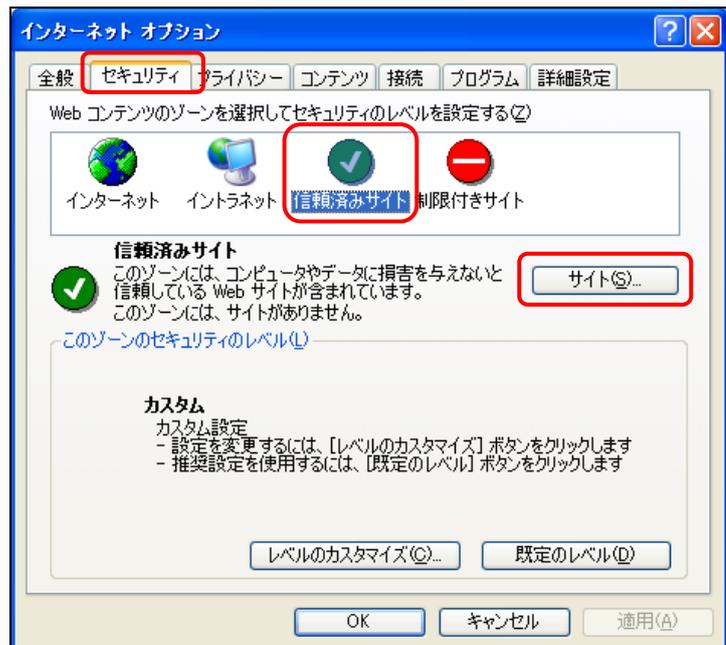
「インターネット オプション」が表示されます。セキュリティの設定を行います。

### 3

《セキュリティ》タブをクリックします。

### 4

 (信頼済みサイト) を選択し、  
信頼済みサイト  
 (サイト) をクリックします。



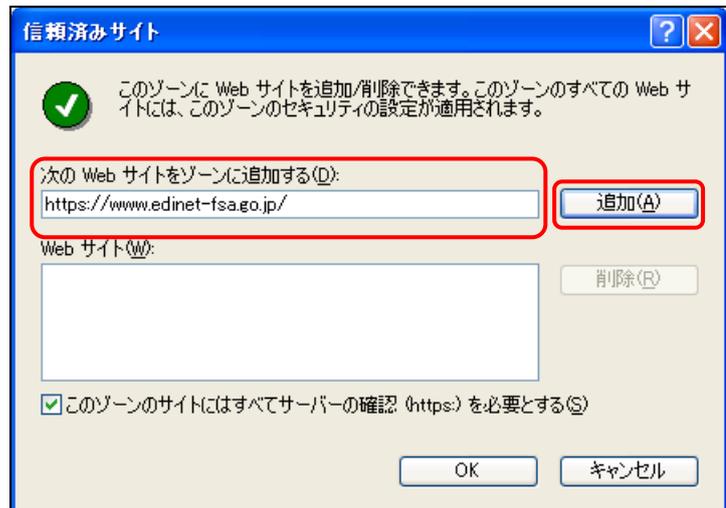
「信頼済みサイト」が表示されます。

### 5

《次の Web サイトをゾーンに追加する》に「https://www.edinet-fsa.go.jp/」と入力します。

### 6

 (追加) をクリックします。

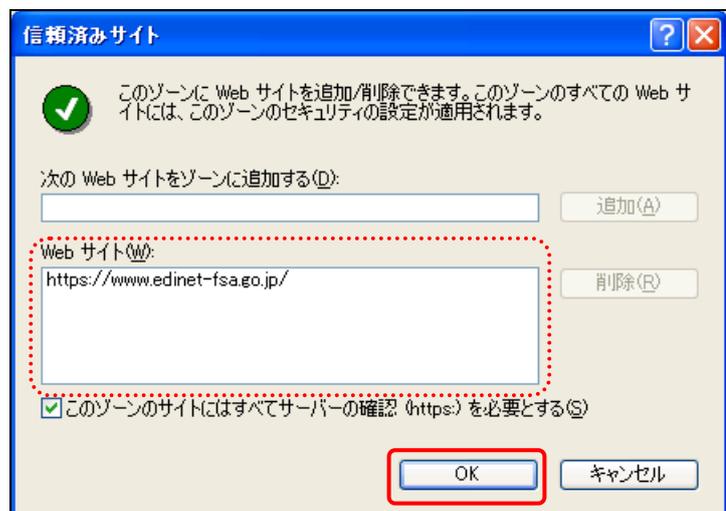


### 7

《Web サイト》に URL が追加されたことを確認します。

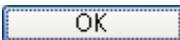
### 8

 (OK) をクリックします。



[インターネット オプション]に戻ります。

9

 (OK)をクリックします。

設定変更ができない場合

MEMO 

設定変更ができない場合は、設定変更を行うことができる権限を付与されていない可能性がありますので、自社のシステム管理者にご相談ください。



## 2-4 JRE の設定

EDINET で書類提出を行う場合は、事前に Sun Microsystems 社の「JRE (Java Runtime Environment)」のインストールが必要です。

インストール済みの方は、ご利用いただくコンピュータに設定されているかどうか、確認することができます。詳しくは、『POINT  JRE をインストール済みの方』(p. 9) をご覧ください。



### JRE (Java Runtime Environment) のダウンロードサイト

JRE (Java Runtime Environment) は、下記のサイトからダウンロードできます。

《JRE 1.5.0\_XX をダウンロードする場合》

<http://java.sun.com/j2se/1.5.0/ja/download.html>

《JRE 1.6.0\_XX をダウンロードする場合》

<http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html>

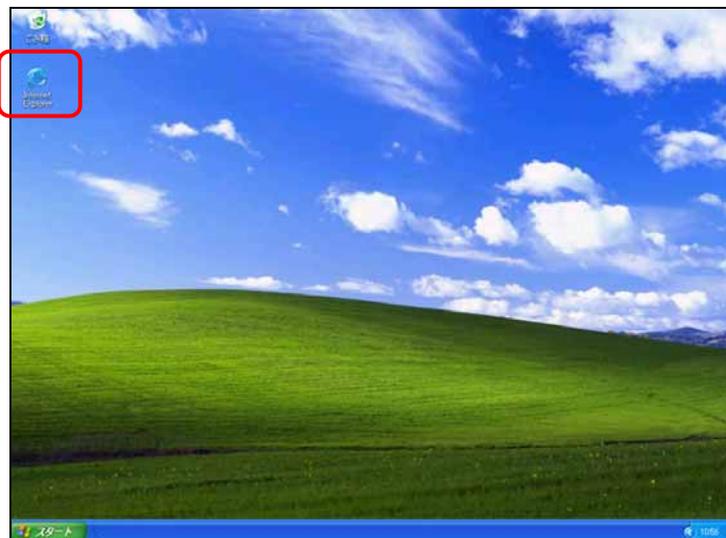
#### 1

Internet Explorer を起動します。



をダブルクリックします。

※  が表示されていない場合は、《スタート》→《すべてのプログラム(P)》→《Internet Explorer》をクリックします。



Java のダウンロードサイトを表示します。

※ここでは、JRE 1.5.0\_XX をダウンロードする例に説明します。



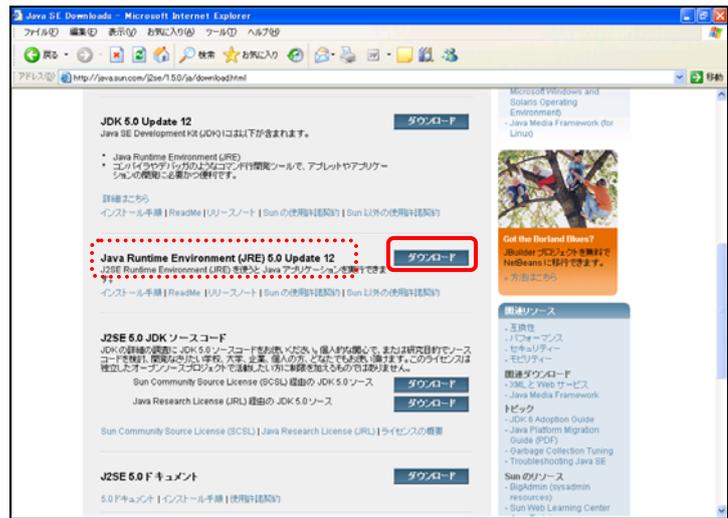
#### 2

《アドレス》にアドレスを入力します。

Java のダウンロードサイトが表示されます。

### 3

《Java Runtime Environment (JRE) 5.0 Update XX》の右側にある **ダウンロード** (ダウンロード) をクリックします。



### 4

以降の操作は、画面の指示に従って操作を行ってください。

インストールができない場合 **MEMO** 

インストールができない場合は、自社のシステム管理者にご相談ください。

## POINT JRE をインストール済みの方

JRE をすでにインストール済みの方は、Internet Explorer で JRE のバージョンを確認することができます。  
『書類提出用 端末要件』で求められている JRE が設定されていることを確認します。

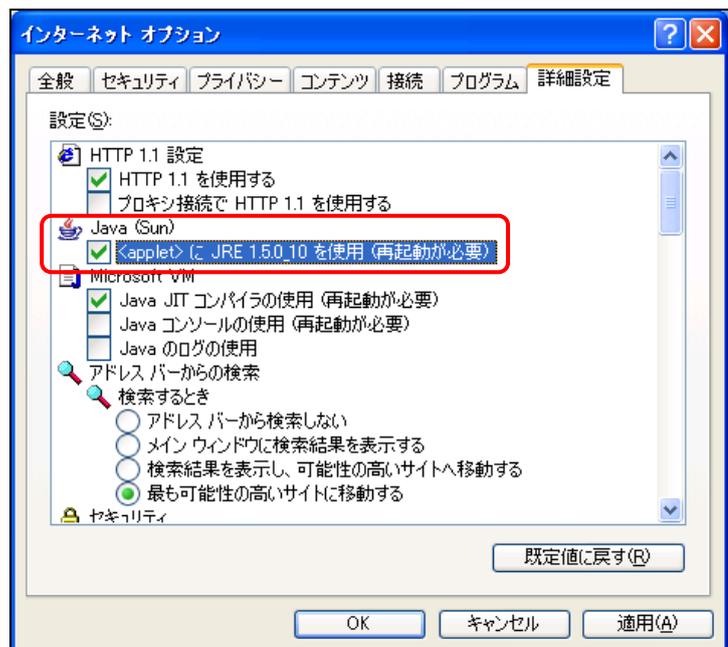
### 1

Internet Explorer を起動し、《ツール》から《インターネット オプション》をクリックします。

[インターネット オプション] が開きます。

### 2

《詳細設定》タブをクリックし、「Java (Sun)」の《<applet>に JRE 1.5.0\_XX を使用 (再起動が必要)》に、推奨バージョンの JRE が設定されており、 が付されていることを確認します。





## Java ランタイムの設定

提出書類のファイルサイズが大きい場合、EDINET へ提出書類データをアップロードができない場合があります。以下の設定を変更することで、アップロード時のエラーを回避できます。

《コントロールパネル》を開きます。

1

《スタート》から《コントロール パネル》をクリックします。

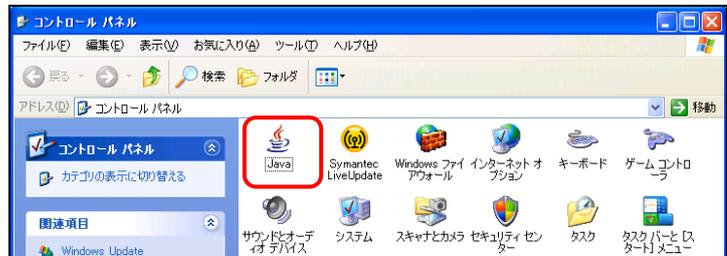


《コントロールパネル》が表示されます。

2

《Java》をダブルクリックします。

Java



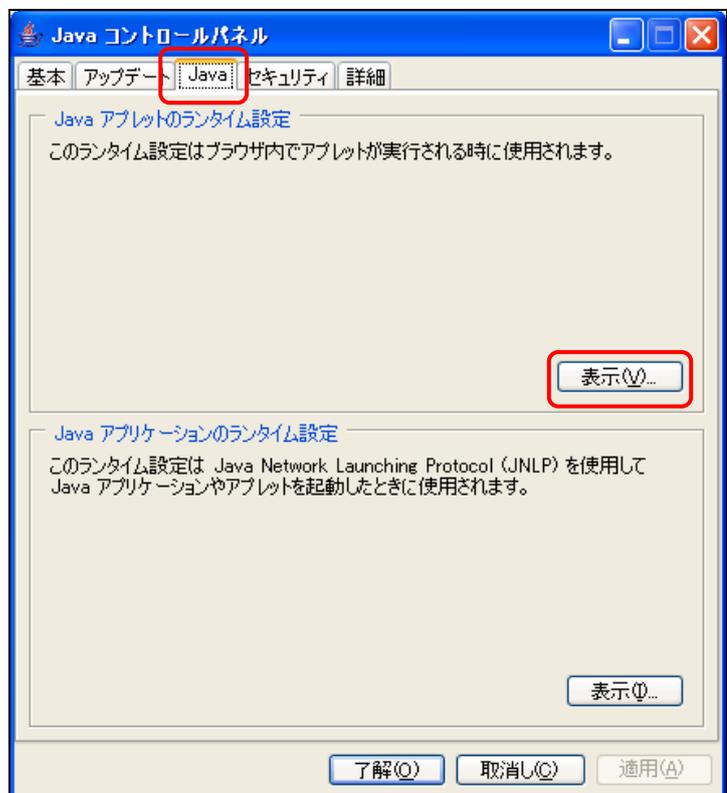
[Java コントロールパネル] が表示されます。

3

《Java》タブをクリックします。

4

《Java アプレットのランタイム設定》の **表示(V)...** (表示) をクリックします。



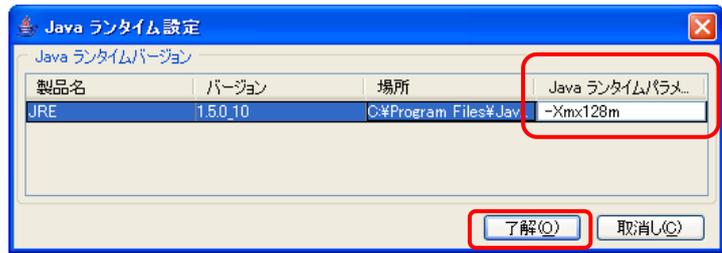
「Java ランタイム設定」が表示されます。

## 5

《Java ランタイムパラメータ》に「-XmxOm」と入力します。

※【F2】キーを押すと、カーソルが表示されます。

※Oには、「64、128、256」などの数値を入力します。提出書類圧縮前のファイルの総サイズの1.5倍の数値を目安に入力します。たとえば、80MB のファイルサイズであれば、「128」を指定します。



## 6

(了解)をクリックします。

## 2-5 電子メールの設定

EDINET では、機能強化の一つとして開示書類等提出者に迅速な情報提供を図るために電子メールを送付する機能がありますので、随時確認が可能な電子メールアドレスを開示書類等提出者ごとに取得してください。なお、EDINET 利用届出時に、電子メールアドレスの入力が必要になります。

## 3 電子署名

EDINET で書類提出する際に、電子署名を付与して提出する場合の事前準備等について説明します。

### 3-1 電子証明書について

書類提出時に、電子署名を付けて提出する場合は、事前に電子証明書を手入しておく必要があります。

電子証明書は「政府認証基盤(GPKI: Government Public Key Infrastructure)」が相互認証した以下の民間認証局等から発行されている電子証明書等をご利用ください。

#### 《民間認証局の一覧》

認証局(会社名)	サービス名	証明書タイプ
電子認証登記所	商業登記認証局	
日本認証サービス株式会社	AccreditedSign パブリックサービス2に係る認証局	
日本電子認証株式会社	AOSign サービスに係る認証局	IC カード
東北インフォメーション・システムズ株式会社	TOiNX 電子入札対応認証サービスに係る認証局	IC カード
株式会社帝国データバンク	TDB 電子認証サービス TypeA に係る認証局	IC カード
セコムトラストシステムズ株式会社	セコムパスポート for G-ID に係る認証局	FD、IC カード
ジャパンネット株式会社	電子入札コアシステム用電子認証サービスに係る認証局	IC カード
日本商工会議所	ビジネス認証サービスタイプ1に係る認証局	・IC カード ・PKCS#12 形式の電子ファイル
四国電力株式会社	よんでん電子入札対応認証サービスに係る認証局	IC カード

株式会社ミロク情報サービス	MJS 電子証明書サービスに係る認証局	IC カード
地方公共団体による公的個人認証サービス	地方公共団体による公的個人認証サービス	IC カード
株式会社中電シーティーアイ	CTI 電子入札・申請届出対応電子認証サービスに係る認証局	CD、IC カード
NTT アプリエ	e-Probatio PS2 サービスに係る認証局	IC カード

### 3-1-1 電子署名機能のインストール

書類提出時に、**署名付き提出** (署名付き提出) をクリックすると、以下の確認メッセージが表示され、「FormCoordinator」というソフトウェアをインストールする必要があります。**OK** (OK) をクリックし、画面の指示に従ってインストールをしてください。



## 3-2 公的個人認証サービス

EDINET で書類提出する際に、公的個人認証サービスより発行された署名を付与して提出する場合の事前準備について説明します。

### 3-2-1 事前準備

電子証明書で「公的個人認証サービス」を利用する場合は、「利用者クライアントソフト」と「公的個人認証証明書登録ツール」を入手し、Internet Explorer に証明書内容を設定する必要があります。

#### 利用者クライアントソフト

公的個人認証サービスを利用して電子申請等を行う場合に、公的個人認証サービスの電子証明書を使用できるようにするソフトウェアのことです。



#### 公的個人認証証明書登録ツール

電子申請・届出等を行う場合に使用する電子署名として、公的個人認証サービスの電子証明書を利用する場合のクライアントソフトウェアのことで、ICカードに格納されている証明書(公開鍵)をご使用中のコンピュータへ登録します。

### 3-2-2 利用者クライアントソフトのダウンロード

以下の Web サイトより「利用者クライアントソフト」をダウンロードし、セットアップします。

<https://www.jpki.go.jp/client/download/index.htm>

公的個人認証サービスポータルサイト 公的個人認証サービス都道府県協議会 > サイトマップ

公的個人認証サービスについて | サービスの利用について | **利用者クライアントソフト** | オンライン窓口 | 認証局の運営 | 失効情報等の提供 | その他関連情報 | よくあるご質問

文字サイズを変更する (小) (中) (大)

トップページ > 利用者クライアントソフトに関する情報 > 利用者クライアントソフトに関する情報 > ダウンロード

#### 利用者クライアントソフトに関する情報

#### ダウンロード

以下の注意事項をご確認の上、ダウンロードするソフトウェアをクリックしてください。

【手順】

1. ソフトウェアを安全にダウンロードしていただくため、「公的個人認証サービスブリッジ認証局の自己署名証明書の登録」を行ってください。なお、既に登録されている場合、再度登録する必要はありません。



### インストール手順

利用者クライアントソフトのインストール手順は、公的個人認証サービスポータルサイトにある手順に従ってください。

### 3-2-3 公的個人認証証明書登録ツールのダウンロード

EDINET の「開示書類等提出者のホームページ」の「推奨端末仕様」より「公的個人認証証明書登録ツール」をダウンロードし、セットアップします。

<http://www.edinet-fsa.go.jp/>

EDINET Electronic Disclosure for Investors' NETwork

#### 推奨端末仕様

推奨端末仕様

- 書類提出用端末要件

#### PDF形式の表示

PDF形式の開示書類の閲覧には Adobe Reader が必要となります。左のリンク先よりダウンロードしてください。(無料)

#### 金融庁認証局証明書の取得方法について

- EDINET をご利用頂くにあたり、「安全な通信を行うための証明書(金融庁認証局自己署名証明書)」の設定が必要となります。下記サイトから証明書を取得し、設定を行ってください。  
[金融庁認証局証明書の取得](#)

#### 公的個人認証証明書登録ツールについて

- EDINET にて「公的個人認証証明書」を使用する方は、以下の証明書登録ツールを使用し、ご使用のコンピュータに証明書を登録して頂く必要があります。証明書の登録方法は「書類提出用端末要件」をご覧ください。  
[公的個人認証証明書登録ツール](#)

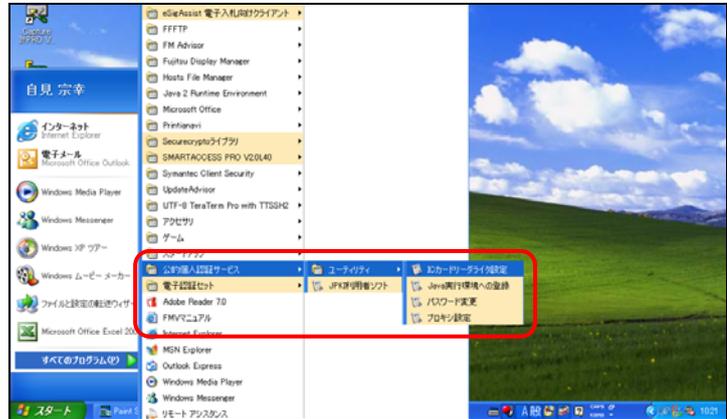
### 3-2-4 証明書の設定－IC カードリーダーの設定

公的個人認証を登録します。

利用者クライアントソフトで IC カードリーダーを設定します。IC カードリーダーをコンピュータに接続し、IC カードをセットします。

#### 1

《スタート》から「公的個人認証サービス」の「ユーティリティ」の「IC カードリーダーライタ設定」をクリックします。

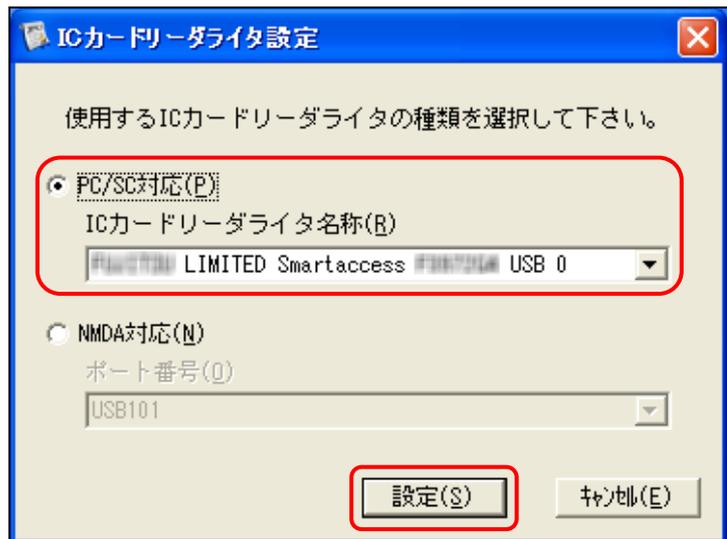


[ICカードリーダーライタ設定]が表示されます。

#### 2

使用するICカードリーダーライタの種類を選択します。

※ここでは USB 経由で接続する IC カードリーダーライタを選択します。



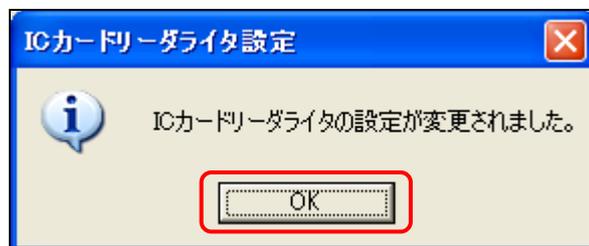
#### 3

設定(S) (設定)をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

#### 4

OK (OK)をクリックします。

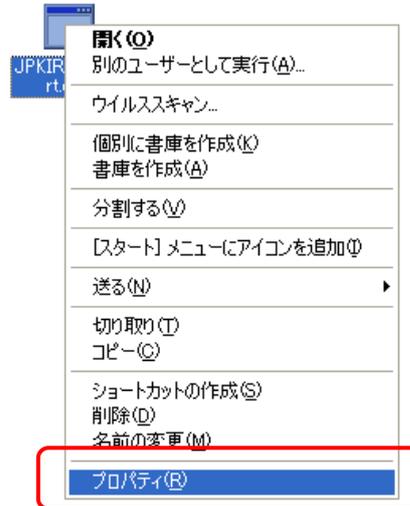


### 3-2-5 証明書の設定－証明書の確認

入手した証明書情報と、金融庁ホームページにて公開されている証明書情報とを照会します。

#### 1

取得した公的個人認証証明書登録ツールを右クリックし、ショートカットメニューから「プロパティ」をクリックします。



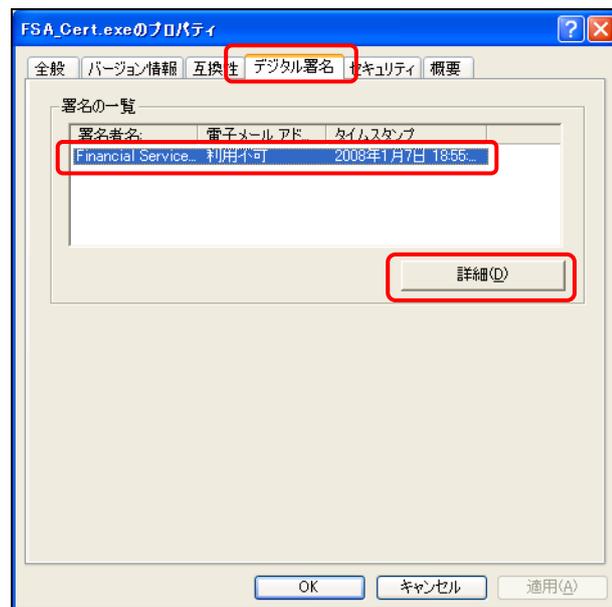
[(公的個人認証ツール名)のプロパティ]が表示されます。

#### 2

「デジタル署名」タブをクリックします。

#### 3

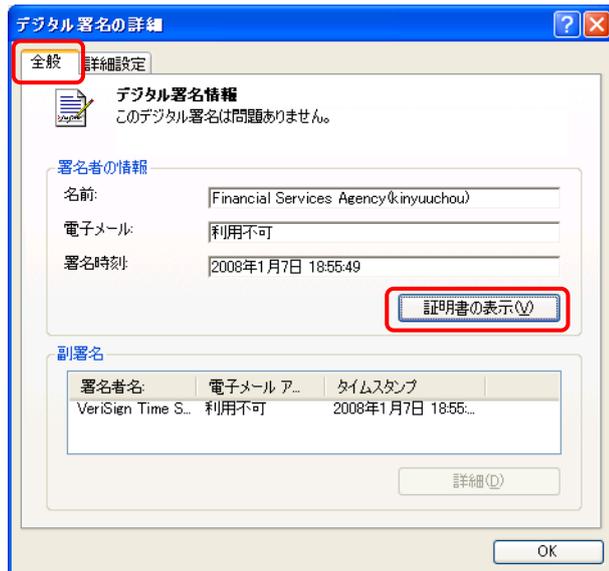
「署名の一覧」から署名を選択し、 (詳細)をクリックします。



[デジタル署名の詳細]が表示されます。

#### 4

「全般」タブの「証明書の表示」(証明書の表示)をクリックします。



[証明書]が表示されます。

#### 5

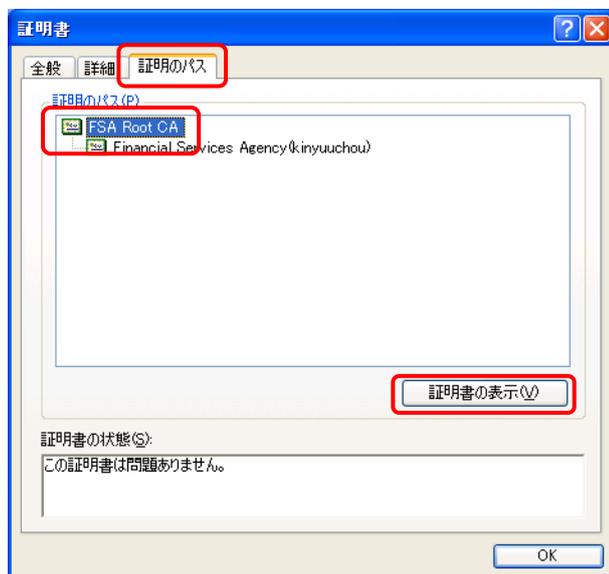
「証明のパス」タブをクリックします。

#### 6

一覧から「FSA Root CA」をクリックします。

#### 7

「証明書の表示」(証明書の表示)をクリックします。



[証明書]が表示されます。

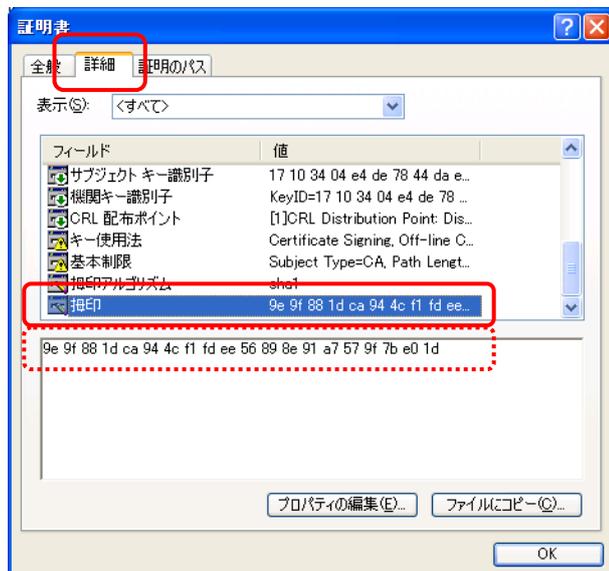
#### 8

「詳細」タブをクリックします。

#### 9

一覧から「拇印」をクリックします。

拇印の内容について、金融庁のホームページの「金融庁認証局について」にある「金融庁認証局の自己署名証明書のフィンガープリント」の内容と照会し確認してください。

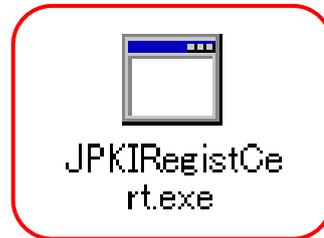


## 3-2-6 証明書の設定－証明書の登録

IC カードリーダーをコンピュータに接続し、IC カードの内容を登録します。

### 1

IC カードリーダーをコンピュータに接続し、IC カードが挿入されていることを確認します。



### 2

公的個人認証証明書登録ツールをダブルクリックします。

[ログイン]が表示されます。

### 3

《パスワード》を入力し、 (OK) をクリックします。



証明書の内容がインポートされます。

### 4

Internet Explorer を起動し、証明書がインポートされたことを確認します。メニューバーの《ツール》から《インターネット オプション》をクリックします。



[インターネット オプション]が表示されます。

## 5

《コンテンツ》タブをクリックします。

## 6

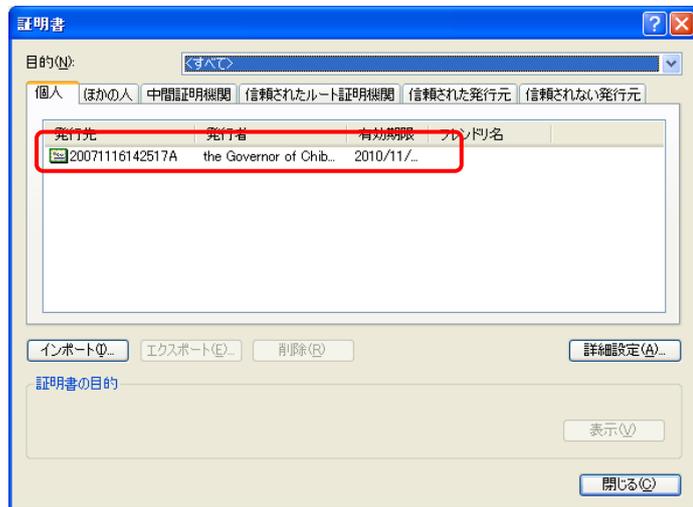
証明書(C)... (証明書)をクリックします。



[証明書]が表示されます。

## 7

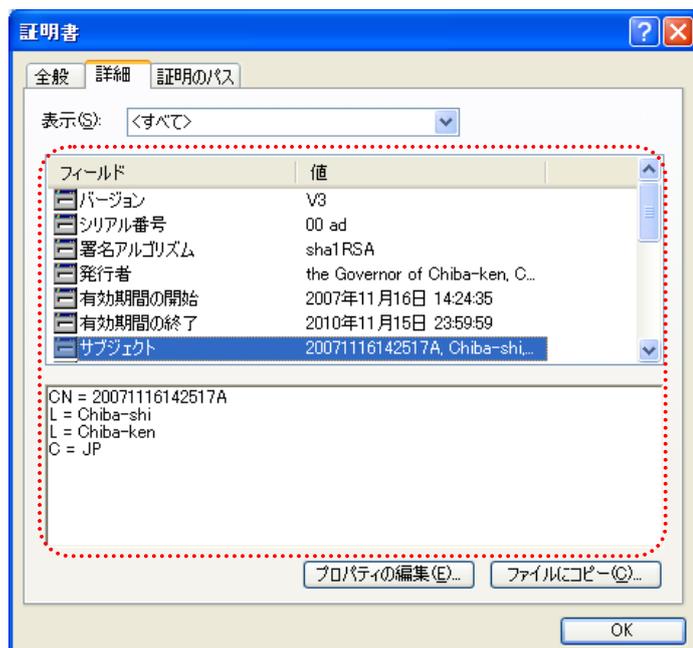
インポートされた証明書をダブルクリックします。



証明書の詳細画面が表示されます。

## 8

インポートされた証明書内容を確認します。



## 3-3 商業登記

EDINET で書類提出する際に、商業登記の署名を付与して提出する場合の事前準備について説明します。

### 3-2-1 事前準備

電子証明書を事前に入手してください。

すでに入手済みの方は、証明書の期限切れや失効等がないか、確認してください。

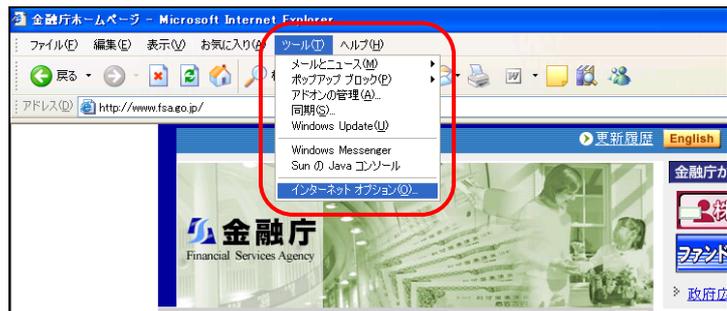
※証明書が失効等している場合、書類に署名を付与する操作の際にエラーとなります。

### 3-2-2 証明書の登録

証明書を登録します。

#### 1

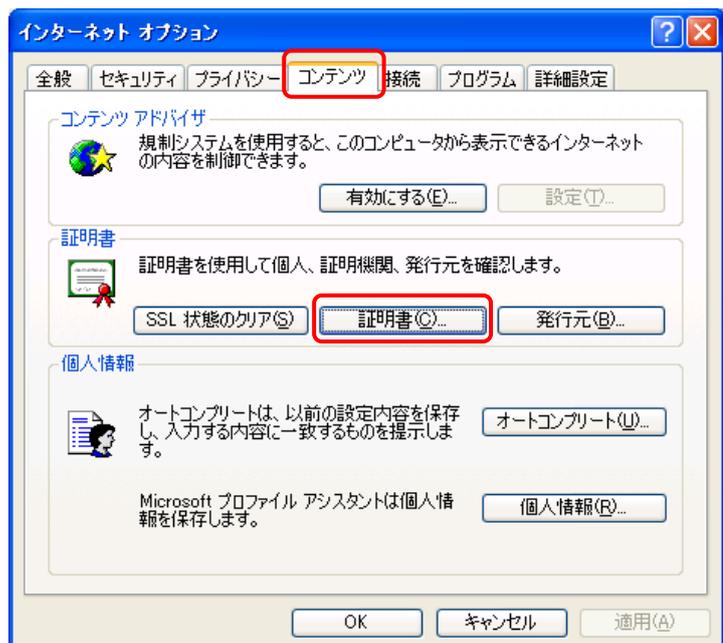
メニューバーの《ツール》から《インターネット オプション》をクリックします。



[インターネット オプション]が表示されます。

#### 2

《コンテンツ》タブをクリックします。



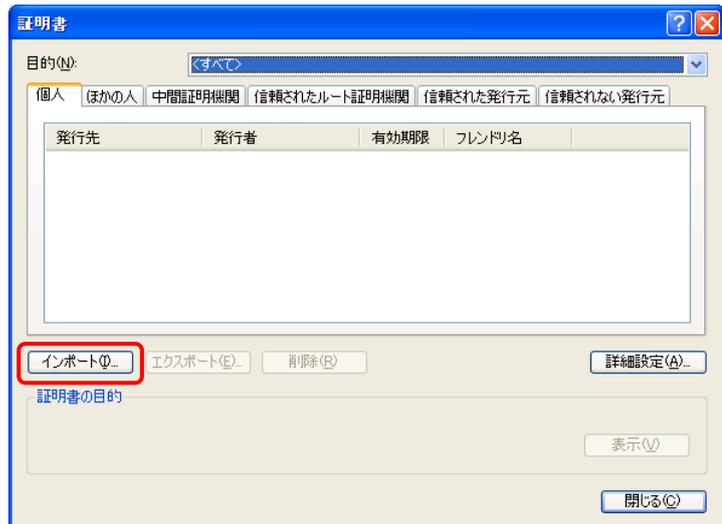
#### 3

証明書(C)... (証明書)をクリックします。

[証明書]が表示されます。

4

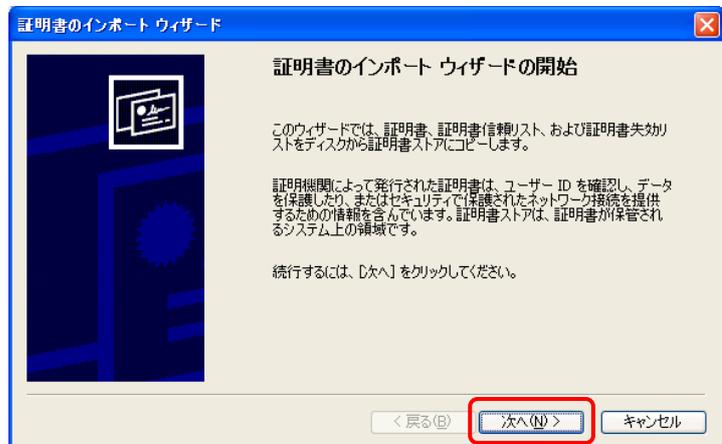
インポート(I)... (インポート)をクリックします。



[証明書のインポート ウィザード]が表示されます。

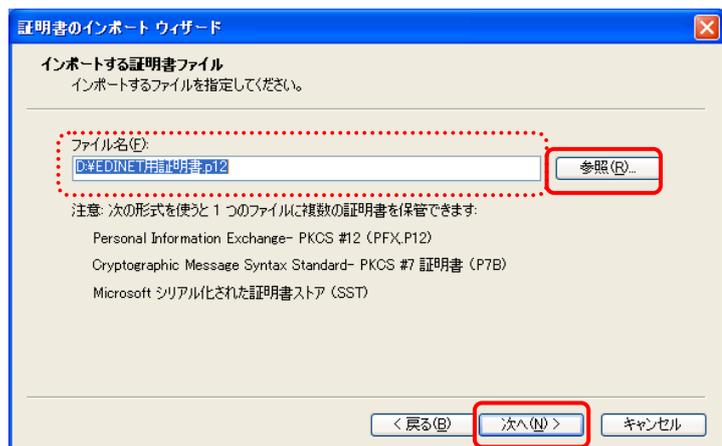
5

次へ(N) > (次へ)をクリックします。



6

参照(R)... (参照)をクリックし、証明書の保存先を指定します。

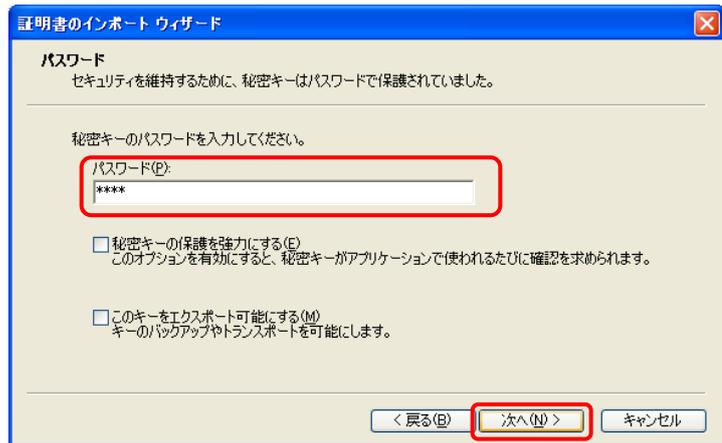


7

次へ(N) > (次へ)をクリックします。

## 8

証明書のパスワードの指定が必要な場合は、パスワード入力画面が表示されます。「パスワード」を入力し、**次へ(N) >** (次へ)をクリックします。  
※表示されない場合は操作 9 に進みます。



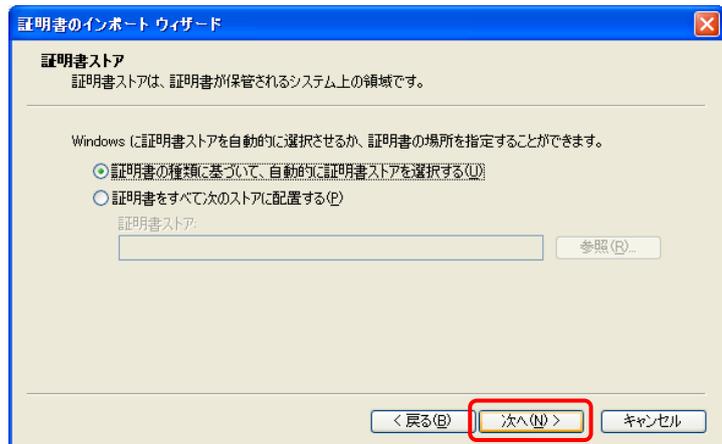
## 9

証明書を配置するストアを指定し、**次へ(N) >** (次へ)をクリックします。

配置するストア

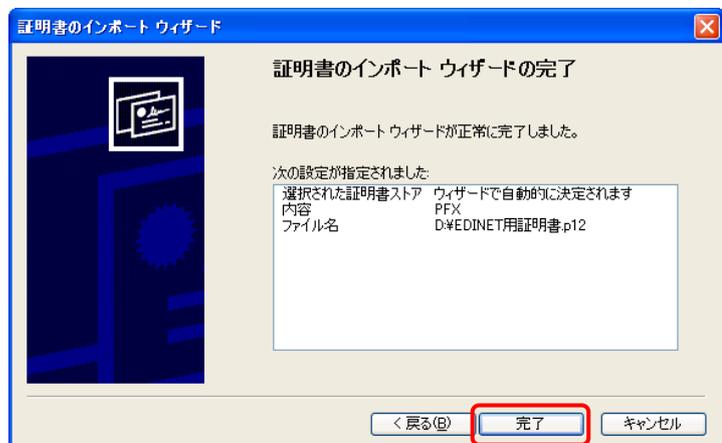


指定がなければ、既定のまま操作を続けてください。



## 10

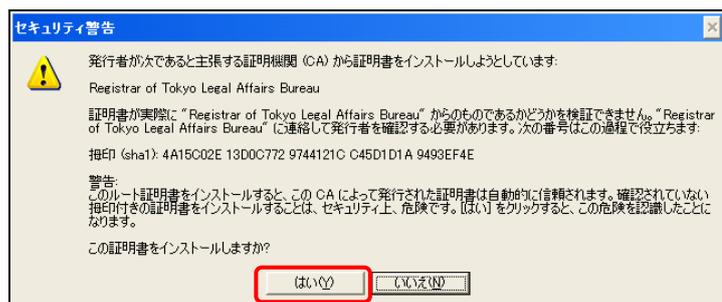
証明書のインポートが完了します。  
**完了** (完了)をクリックします。



[セキュリティ警告]が表示されます。

## 11

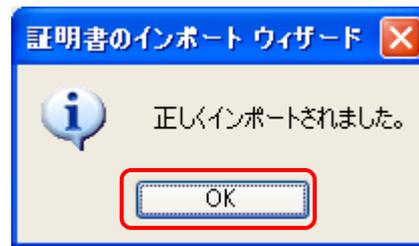
内容を確認し、**はい(Y)** (はい)をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

## 12

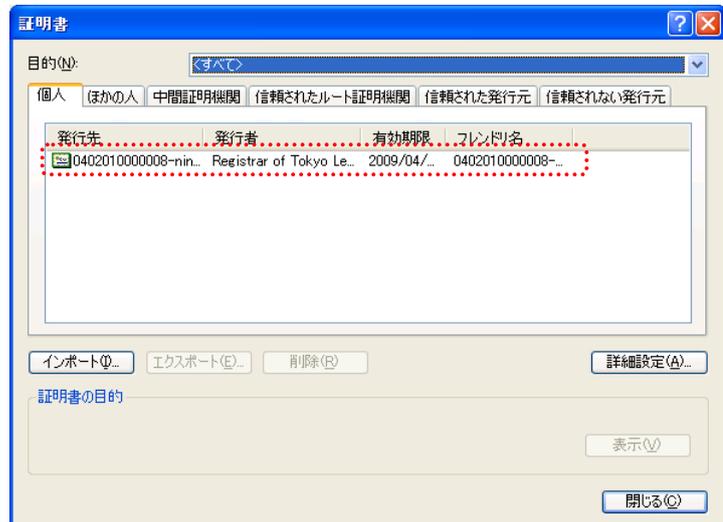
(OK)をクリックします。



[証明書]が表示されます。  
設定された証明書を確認します。

## 13

《個人》タブをクリックし、一覧に証明書が設定されていることを確認します。



## 14

証明書の内容を確認します。証明書名をダブルクリックします。

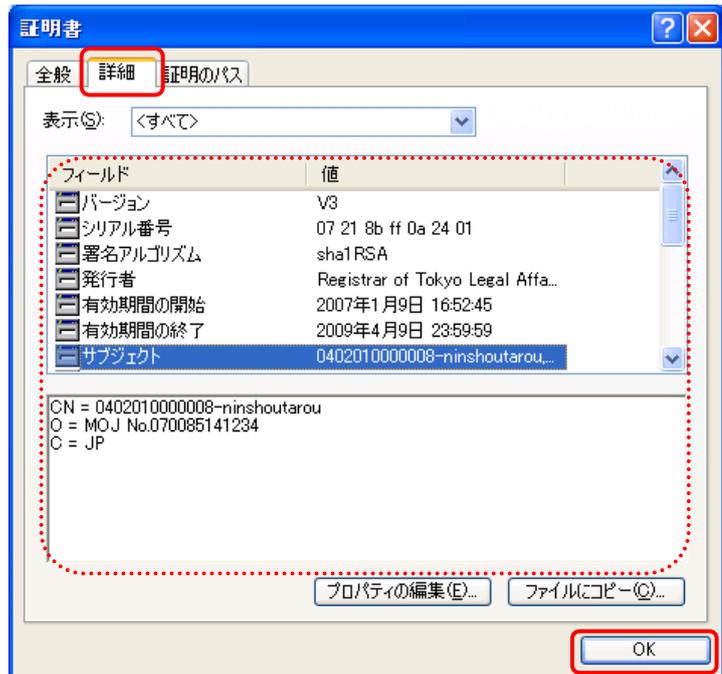
証明書の詳細画面が表示されます。



## 15

インポートされた証明書内容を確認します。

《詳細》タブをクリックします。



## 16

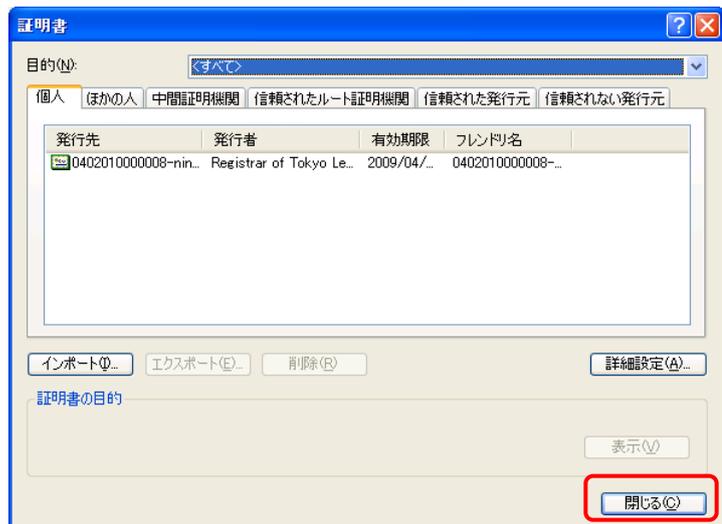
確認を終了します。

(OK)をクリックします。

## 17

設定を終了します。

(閉じる)をクリックします。



[インターネット オプション] が表示されます。

18

 (OK) をクリックします。

